

精道中だより

特別号
令和4年2月4日
校長 西端 充志



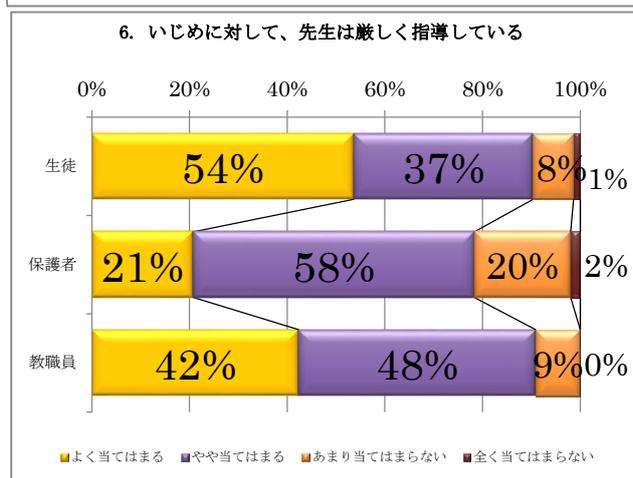
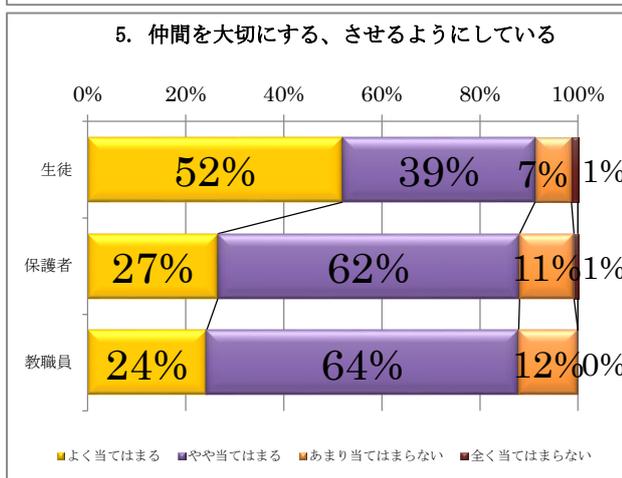
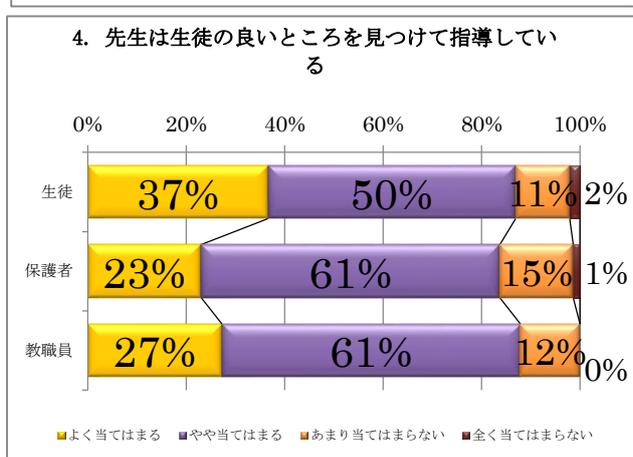
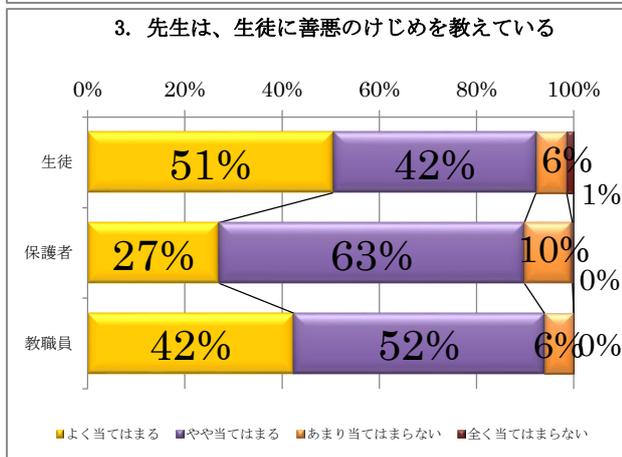
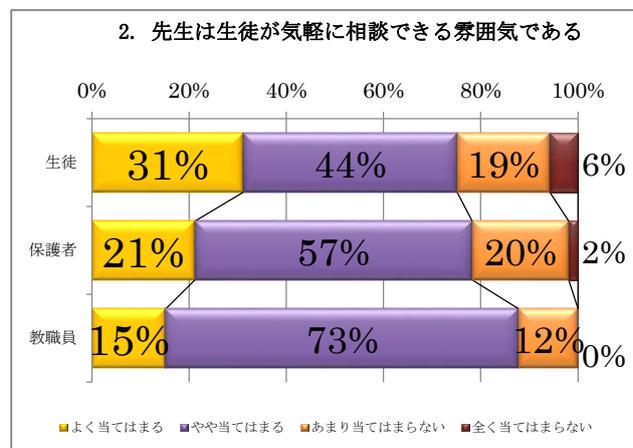
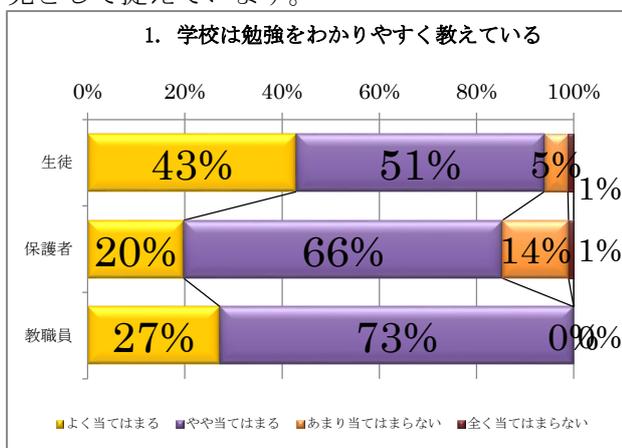
強さ・かしこさ・思いやり ～心を一つに、全員が輝く学校～

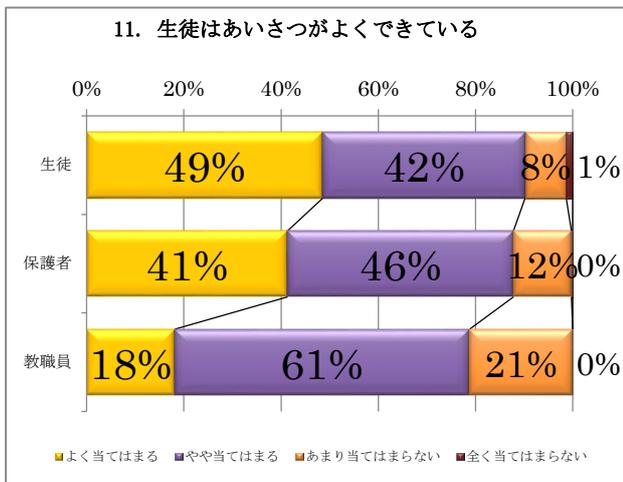
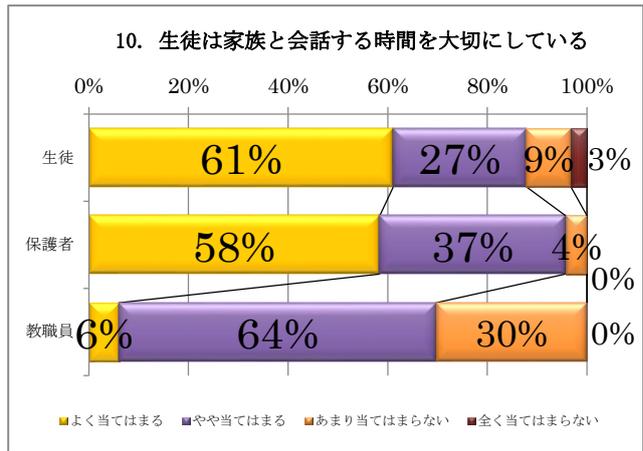
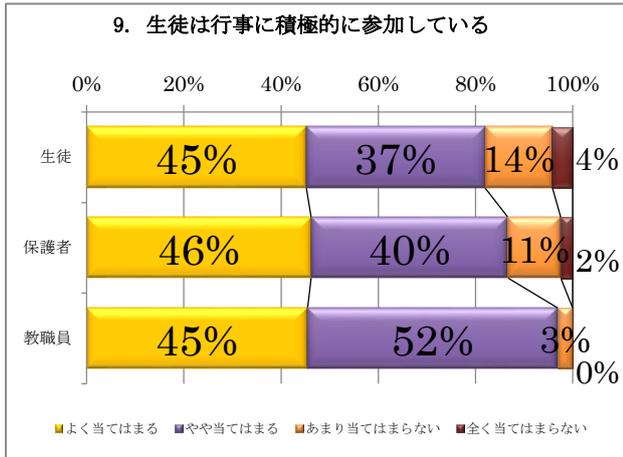
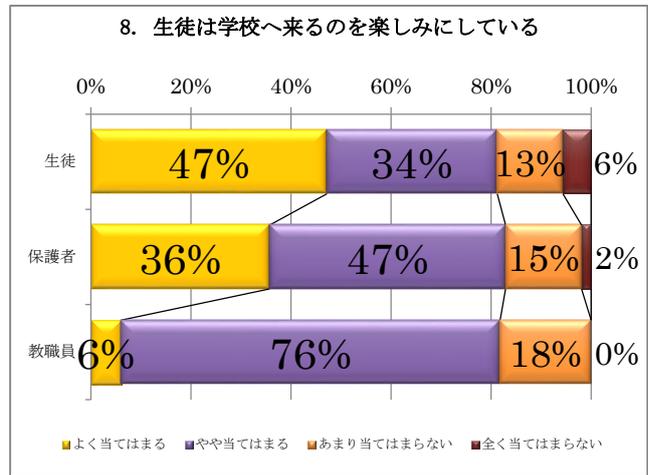
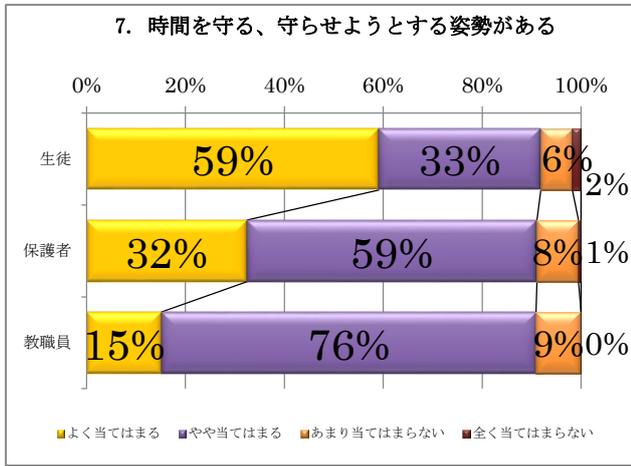
学校評価の結果について

精道中学校では、毎年、その年の教育活動の成果と課題を整理し、それを次年度の指導の改善に生かしていくために、生徒、保護者、教職員の三者を対象に、同じ質問項目で学校評価アンケートを実施しています。この度、今年度のアンケート結果がまとまりましたのでご報告いたします。

令和3年度 三者比較

生徒(上段)、保護者(中段)、教職員(下段)のアンケートを比較したグラフです。「よく当てはまる」「やや当てはまる」を肯定的な意見、「あまり当てはまらない」「全く当てはまらない」を否定的な意見として捉えています。





今年度もコロナ禍の中での教育活動となり、毎年行っている本アンケートの結果を注目していました。結果的には、例年と比較し大きく変化があった項目はありませんでした。昨年同様三者とも、どの項目においても肯定的な意見が多く見られる状況になっています。

具体的な内容については、「学校は勉強をわかりやすく教えている」という問いに対し、昨年度と比較して、ほぼ変わらないという評価でした。コロナ対策により、指導方法を変更せざるを得ない中、工夫しながらの指導が評価されたことは、うれしく思っています。

しかしながら「先生は生徒が気楽に相談できる雰囲気である」という問いに対しては、昨年度と比較して肯定的な意見が若干下がっている状況が見られました。具体的には、生徒の肯定的な意見が79%から75%となっています。保護者の意見も82%から78%となっています。マスクを着けて、フィジカルディスタンスをとりながらも、生徒とのコミュニケーションを、より大切にしていきたいと考えます。また、「いじめに対して教員が厳しく指導している」という問いに対して、教員の91%は肯定的な回答しているのに対し、保護者の22%は否定的な評価をしており、この評価の差については、昨年度からの課題となっていますが、生じる理由を分析し、改善を図っていく必要があると考えます。

以上のようなアンケート結果を受けて、来年度に向けてさらに、生徒が充実した学校生活を送れるよう、指導の改善を図ってまいります。今後とも本校に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。